

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月11日 (2008.12.11)

【公表番号】特表2008-516985(P2008-516985A)

【公表日】平成20年5月22日 (2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-537014(P2007-537014)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/715 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 39/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/715 Z N A

C 0 7 K 16/28

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 19/02  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 37/08  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 39/02  
 A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 31/00  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 A 6 1 P 11/00  
 A 6 1 P 43/00  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 17/02  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 P 13/12  
 A 6 1 P 37/06  
 A 6 1 P 1/02  
 A 6 1 P 27/02  
 A 6 1 P 35/02  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 9/08  
 A 6 1 P 1/16  
 A 6 1 P 9/10  
 A 6 1 P 1/18  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 P 43/00 1 0 7  
 A 6 1 P 21/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月20日(2008.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体であって、以下の：

a) 配列番号 9；

b) 配列番号 1 2；

c) 配列番号 2 1 のアミノ酸残基 2 4 ~ 4 1 4、好ましくは配列番号 2 1 のアミノ酸残基 1 3 6 ~ 4 1 4；

d) 配列番号 2 3；

e) 配列番号 1 0 7 のアミノ酸残基 1 5 9 ~ 4 3 7；

f) 配列番号 1 2 2；

g) 配列番号 1 0 9 のアミノ酸残基 2 4 ~ 4 1 4、好ましくは配列番号 1 0 9 のアミノ酸残基 1 3 6 ~ 4 1 4；

h) 配列番号 1 1 3；

i) 配列番号 1 1 5；

j) 配列番号 1 1 7；及び

k) 配列番号 1 1 9

からなる群から選ばれるアミノ酸配列を含む、前記受容体。

【請求項 2】

配列番号 115 を含む第一ポリペプチドと配列番号 117 及び 119 からなる群由来のポリペプチドを含む第二ポリペプチドとを含む、請求項 1 に記載の単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体。

【請求項 3】

前記第二ポリペプチドが配列番号 117 を含むか、又は当該第二ポリペプチドが配列番号 119 を含む、請求項 2 に記載の単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体。

【請求項 4】

配列番号 117 を含む第一ポリペプチドと配列番号 115 及び 119 からなる群由来のポリペプチドを含む第二ポリペプチドとを含む、請求項 1 に記載の単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体。

【請求項 5】

前記第二ポリペプチドが配列番号 115 を含む、ここで当該第二ポリペプチドが、配列番号 119 を含む、請求項 4 に記載の単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体。

【請求項 6】

配列番号 119 を含む第一ポリペプチドと配列番号 115 及び 117 からなる群由来のポリペプチドを含む第二ポリペプチドとを含む、請求項 1 に記載の単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体。

【請求項 7】

前記第二ポリペプチドが配列番号 115 を含むか、又は当該第二ポリペプチドが配列番号 117 を含む、請求項 6 に記載の単離された Z c y t o R 2 1 可溶性受容体。

【請求項 8】

前記可溶性受容体が、I L - 1 7 C (配列番号 117) の活性を低下することができる、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の前記受容体。

【請求項 9】

前記可溶性受容体が I L - 1 7 C (配列番号 117) の活性を低下することができる、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のアミノ酸残基の配列を有するポリペプチドに結合する抗体又は抗体フラグメント。

【請求項 10】

前記抗体又は抗体フラグメントが、(a)ポリクローナル抗体、(b)マウスモノクローナル抗体、(c)(b)に由来するヒト化抗体、(d)抗体フラグメント、又は(e)ヒトモノクローナル抗体である、請求項 9 に記載の抗体又は抗体フラグメント。

【請求項 11】

前記抗体又は抗体フラグメントが、放射性核種、酵素、基質、補因子、蛍光マーカー、化学発光マーカー、ペプチドタグ、磁性粒子、薬剤、又は毒素をさらに含む、請求項 9 又は請求項 10 に記載の抗体又は抗体フラグメント。

【請求項 12】

前記抗体がペグ化をさらに含む、請求項 9 ~ 11 のいずれか一項に記載の抗体又は抗体フラグメント。

【請求項 13】

患者における免疫介在疾患の治療用の医薬の製造のための可溶性 Z c y t o R 2 1 受容体の使用。

【請求項 14】

前記可溶性 Z c y t o R 2 1 受容体が、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の可溶性受容体である、請求項 13 に記載の使用。

【請求項 15】

哺乳類における I L - 1 7 C 介在炎症の軽減のための医薬の製造のための、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の可溶性受容体又は請求項 9 ~ 12 のいずれか一項に記載の抗体又は抗体フラグメントの使用。

## 【請求項 16】

Z c y t o 2 1 活性に関連する対象における病的状態を治療するための医薬の製造のための請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の可溶性受容体の使用。

## 【請求項 17】

Z c y t o R 2 1 が役割を果たす炎症性疾患を罹患した哺乳類を治療用の医薬の製造のための Z c y t o R 2 1 のアンタゴニストの使用であって、ここで当該アンタゴニストが、( i ) Z c y t o R 2 1 のポリペプチド又はポリペプチドフラグメントに特異的に結合する抗体、抗体フラグメント、Z c y t o R 2 1 可溶性受容体、又は結合性ポリペプチド、又は( i i ) Z c y t o R 2 1 のポリペプチド若しくはポリペプチドフラグメントを含み；ここで投与の後に炎症活性が軽減される、前記使用。

## 【請求項 18】

前記疾患が喘息である、請求項 16 又は 17 に記載の使用。

## 【請求項 19】

前記疾患が慢性炎症性疾患であり、好ましくは当該疾患が、炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、関節炎、アトピー性皮膚炎、又は乾癬を含む慢性炎症性疾患である、請求項 16 又は 17 に記載の使用。

## 【請求項 20】

前記疾患が急性炎症性疾患であり、好ましくは当該疾患が、内毒素血症、敗血症、毒性ショック症候群又は感染性疾患を含む急性炎症性疾患である、請求項 16 又は 17 に記載の使用。

## 【請求項 21】

前記抗体、抗体フラグメント、又は結合性ポリペプチドが、放射性核種、酵素、基質、補因子、蛍光マーカー、化学発光マーカー、ペプチドタグ、磁性粒子、薬剤、又は毒素をさらに含む、請求項 17 ~ 20 のいずれか一項に記載の使用。

## 【請求項 22】

前記抗体、抗体フラグメント、又は結合性ポリペプチドはペグ化をさらに含む、請求項 17 ~ 21 のいずれか一項に記載の使用。